

各 位

主催 京都府中小企業技術センター 中丹技術支援室

安全を守り安心を提供する非破壊検査技術セミナー の開催について

京都府中小企業技術センターでは、安全を守り安心を提供する非破壊検査技術セミナーを開催します。非破壊検査技術は、大型溶接構造物から電子機器関連の小型部品まで、保守メンテナンスや品質管理、不良・不具合のチェックなど、非常に重要な役割を担っています。

今回のセミナーでは第1回は各種非破壊検査手法の原理と適用事例、第2回は非破壊試験の最新技術とその動向について解説していただきます。

是非、この機会に多くの方にご参加をいただきますようお願いいたします。

記

1 日時及び内容

<p>第1回：令和3年1月27日（水） 午後1時30分～午後4時30分 「各種非破壊検査手法の原理と適用事例」</p>
<p>非破壊検査は、鉄鋼、造船、発電プラント、石油・石化プラント、建築・橋梁などの大型構造物から、セラミックス、FRPなどの新素材や、さらには電子機器関連の小型部品に至るまで、あらゆる分野で用いられています。またその目的も、製造時の品質管理、メンテナンスなどの維持管理、運転中の状態監視など多岐にわたっています。ここでは、非破壊検査技術の基本的な原理とその応用事例について紹介します。</p>
<p>第2回：令和3年2月4日（木） 午後1時30分～午後4時30分 「非破壊試験の最新技術とその動向」</p>
<p>主として放射線、超音波、電気、磁気などを用いる非破壊試験技術は、近年のデジタル化に伴う情報処理技術や新しいセンサの開発など、周辺技術の目覚ましい進歩により自動化、省力化、高精度化が実現されてきています。一方、赤外線、AEなどを用いたモニタリング技術も実用化され、非破壊試験技術の選択肢の幅は益々増大して、対象物の健全性の確保に寄与しています。ここでは、非破壊試験における新技術の動向と今後の可能性について紹介します。</p>

